

平成31年度予算の主な事業

第 16 回（2 月）定例会で可決された平成 31 年度予算の中から、主な事業を紹介します。



同報無線 デジタル化 整備事業

▲同報系防災行政無線のデジタル化を行います

予算額

1 億 4,180 万円

防災情報や重要な行政情報を伝達するための同報系防災行政無線について、従来のアナログ方式からデジタル方式へ変更するための工事を計画的に進め、情報伝達体制の機能強化を図ります。

予算額

1 億 6,987 万円

情報機器整備事業

子供たちが情報社会に主体的に対応できる「情報活用能力」の育成を図るため、中学校の全普通教室に大型ディスプレイを導入するなど、情報教育に係る環境整備を進めます。



▲情報活用能力の育成を図ります

新貨物ターミナル 土地収用関連事業

予算額

8,690 万円



▲新貨物ターミナルの用地取得を進めます

鉄道高架事業を推進するため、新貨物ターミナルの用地取得に向けて、土地収用法に基づく手続を進めるための土地・物件調書の作成などを行います。

中学校施設 空調設備整備事業

予算額

2,343 万円



▲エアコンの整備を進めます

市内の全小中学校の普通教室等にエアコンを整備するため、先行して進めている小学校に続き、中学校の整備に向けた実施設計を行います。

（小学校は平成 30 年度補正予算にて工事費等 8 億 6,360 万円を計上）

防犯まちづくり 事業

予算額

8,450 万円



▲迷惑悪質電話防止装置を貸与します

自治会が設置する LED 防犯灯の設置費補助を引き続き行うほか、新たに、高齢者の振り込め詐欺などの被害防止を目的とした迷惑悪質電話防止装置の貸与を行います。

新たな公共交通 推進事業

予算額

1,730 万円



▲沼津駅から沼津港までを結ぶ EV バスの運行を実現します

既存の交通システムにとらわれない公共交通のあり方について研究を進め、EVバス車両導入費の補助、機能的でわかりやすいバスマップの作成、バス位置情報提供サービス活用に対する補助などにより、公共交通の利便性の向上と利用促進を図ります。

産後ママの リフレッシュ事業

予算額

130 万円



▲産前産後のサポートを進めます

生後 5 カ月までの乳児を持つ母親を対象に、産後のこころとからだのリフレッシュや交流の場を提供するため、ヨガやマッサージなどのリフレッシュメニュー体験を実施するほか、専門家による子育ての悩み相談を行います。